

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山県小田郡矢掛町立矢掛小学校
(※正式名称を記載)

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒714 - 1201
岡山県小田郡矢掛町立矢掛3000-1

E-mail yakagesho@yakagesho.town.yakage.okayama.jp

Website http://www.yakagesho.town.yakage.okayama.jp/

幼児児童生徒数 男子 97名 女子 98名 合計 195名
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

- 生活科・総合的な学習の時間等における活動
 - ◇1年生…○次年度の新入生一日入学で保幼小接続カリキュラムの実施。
 - ◇2年生…○県立矢掛高校（ユネスコスクール）の協力を得て、2名の講師を招き、地域の川の生き物探しの活動を行った。
 - ◇3年生…○地域の活動「見つけよう、矢掛のじまん！」において、伝統的な名物（みそ等）や地域でとれる農産物（なし、大豆、サツマイモ等）の体験活動を行った。
 - ◇4年生…○福祉ボランティアの体験活動（車いす体験・高齢者疑似体験）においては、社会福祉協議会の方を講師に招いて取り組んだ。また、地域の支援ボランティアの方々を迎えて、手話や点字、要約筆記の活動を体験した。地域の福祉施設であるたかつま荘やあすなる園などへの訪問・交流活動も行った。
 - ◇5年生…○地域の美山川の環境について学び、ゴミや環境問題についての話を聞き、地域の自然を守るためにできる取組を行った。
 - ◇6年生…○ふるさと矢掛を愛し、地域を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の方と進んで触れ合うことができるように、地域

の歴史や文化を調べる活動を行った。矢掛本陣や脇本陣などに代表される、宿場町矢掛の町並みのよさを「子ども観光ボランティア」として他地域から来られた人に紹介する活動を行った。

2 ESDパスポートの取り組み

○各学年の取り組みや全校での取組を生かして、地域に貢献した活動をESDパスポートとして記録に残し、地域に貢献していこうとする人材の育成に努めている。(小学校・中学校連携した活動)。

3 やかげ学

○週に1回(木曜日)、矢掛高校の生徒が来校し、学習支援や奉仕活動などを実施することを通して、本校児童と交流している。(全学年)

4 「学びのポイントラリー」への参加

○矢掛町で行われている「学びのポイントラリー」の事業やイベントに進んで参加している。公民館行事等、身近な自然に親しんだり、地域の方と交流したりする講座等に参加することは、より地域のことを学ぶ機会となっている。(全学年)



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校のユネスコスクールの取組は、主に総合的な学習の時間に実施予定となっており、教育課程の中に位置付けられている。各学年の指導内容や年間の指導計画も年度ごとに見直しをしながら計画的に実施している。屋外での活動で実施が遅れたり、中止になったりする場合もあるが、連絡調整や修正を図り、できるだけ実施できるようにしている。来年度は、その計画にキャリア教育の視点を取り入れて、児童一人一人に各学年のカリキュラムが定着したことを振り返ることができるように工夫していきたい。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

職員間でカリキュラムを共有するとともに、その実施のために地域連携担当者が実施における地域連携のためのサポートを行っている。また、地域連携組織として「スクラム21」を立ち上げており、年1回の総会を実施して地域住民や地域の組織からの協力体制について話し合っている。学校を中心に地域の教育資源をまとめることにより取組の継続を図っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

本校はコミュニティースクールに指定されており、学校運営協議会により学校の教育活動の評価を行っている。ミッションの達成に向けて単年度目標と中期目標を掲げて学校の活動について評価をいただいている。3年に一度外部の専門評価を受けて教育の専門家からの評価を受けている。評価の中での課題は、地域を巻き込んだ活動には多くの準備と時間がかかり、働き方改革推進の妨げとなっていることである。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動成果の発信は、学校だよりとホームページで行っている。発信によりどんな成果が得られているかは十分な検証を行っていないが、地域の方々からは、学校の取組を知って協力するきっかけとなっているという言葉をいただいている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

上記の機関との連携かどうかははっきり分らないが、本年度はアメリカのダラス・バプティスト大学の視察を受け入れた。児童との交流の時間も充実した交流が行えた。(⑦とも関連)

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

町内のユネスコスクールとは、交流を行っており、学習成果の交流を行っている。また、町内の学校で合同授業を行っており、3年生以上で町内のユネスコスクール(ユネスコスクール以外の小学校も含む)で交流を行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校ではコミュニティースクールを推進しており、ユネスコスクール・ESDの活動とともに、地域連携による学校づくりを推進することができている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

教育課程に位置付けているので平成29年度と活動計画は大きく変わりませんが、キャリア教育の視点やアクティブラーニングの手法等を取り入れていく予定。